

COOP

京都の生協

●2003●JANUARY●NO.

47

発行 ●京都府生活協同組合連合会

〒604-0851 京都市中京区烏丸夷川東南角 せいきょう会館2F

TEL.075-251-1551 FAX.075-251-1555

ホームページURL: <http://ha2.seikyone.jp/home/Kyotofu.Seikyoren/>

メールアドレス: Kyotofu.Seikyoren@ma2.seikyone.jp

C/O/N/T/E/N/T/S



ネットワークNOW 2

●京都橘女子大学教授・文学博士

田端泰子さん

●京都府生活協同組合連合会副会長
(京都生協理事長)

小林智子さん

◆京都府総合防災訓練に参加 7

◆「健康とたべるたいせつ」フォーラム 8

◆京大生協・秋のわくわく健康ランド 10

◆京都のJAと生協が手をむすんで 11

◆「第2回 職員体験・交流学校」開催される

◆「食品安全行政」の充実へ、準備すむ 12

TOPICS 13

●京都府保健福祉部・京都府生協連定期懇談会/第14回近畿地区生協・行政合同会議/京都生協がジェンダー学習会を開催/京都府勤労者健康スポーツフェスティバル開催/第14回KYOのあけぼのフェスティバルワークショップ/学生の健康とごはん食の重要性をアピール/ライスフェアイン京都2002/第3回世界水フォーラム・生協学習交流会/買い物袋持参・簡易包装推進キャンペーン/消費者保護基本法改定にかんする学習会/2002 産直フォーラム/越畑フレンドパークまつばら/農林水産省近畿農政局と2府4県・管内府県生協連との懇談会/大学生協京滋・奈良地域センター2003年度総会/京都環境フェスティバル2002/JA女性協と生協女性役職員との懇談会

◆お知らせ ◆探訪 16

ネットワーク・ナウ
対談
Network!
Now

京都橘女子大学教授・文学博士
京都府生活協同組合連合会副会長
(京都生協理事長)

小林智子さん

田端泰子さん



「健康とたべるたいせつ」フォーラム開かれる



京都府総合防災訓練——山田知事に「応急物資」を手渡す生協ボランティア

京都橘女子大学教授・文学博士

田端泰子^{たばたやすこ}さん

歴史に学び、歴史をきりひらく女性を育てたい

中世の女性たちをさぐり、次代をになう学生を育て、現代のくらしと『協同』を考へる――



京都府生活協同組合連合会副会長（京都生協理事長）

小林智子^{こばやしともこ}さん

ネットワーク・ナウ
Network!
対談 **Now**

21世紀に
はばたく
京都の生協

女性が生き生きと活動する組織は、活動分野がまちづくりであれ、環境問題であれ、例外なく元気だ。中世女性史研究者・田端泰子さんは「女性は軽労働しかできないから賃金も安くて当然という論があるが、中世の女性は重労働もこなし、労働における男女差は現代より小さかったようだ」と語る。自分の「意思」をたいせつに生きた「中世の女性像」もしだいに明らかになりつつあるいま、歴史をきりひらいてきた女性たちに学びたい。



小林 先生は京都生協の組合員でいらつしやるとか。

田端 とても古い組合員です(笑)。

小林 研究者としてお仕事をつづけられるうえで、生協もお手伝いできたでしょうか。

男性のみの視点で描かれた歴史は不完全

小林 ところで中世の女性
は、先生の社会的な視点にもと
づいた研究によって、従来の
「政略結婚をしいられた人たち」
というイメージが塗りかえら

田端 子育てのころ、かさばるトイレトペーパーや重い粉せつけんなどをもってきてくださって、ありがたかったですね。ずいぶん助けられました。

小林 そう、おつしやっていただけるとうれしいです(笑)。
れ、ジェンダーという点でも非常に興味深い存在として浮かび上がっています。先生はなぜ、中世女性史を研究なさったのですか。

田端 大学時代の専攻は中世のムラの歴史でしたが、中世のムラは年配の男性が主導権を握っていて、土一揆の指導者として名前が残っているのも男性だけなんです。でも私は、「女性はどうしていたのだろうか？」とずっと疑問を感じていました。さいわい、大学院を終えたのち、本学で教えることになり、「中世の人口の半分を占める女性の姿を明らかにしないと、歴史としても完全なものにならないだろう」と、女性史に

取り組みはじめたわけです。
いざ調べはじめると、中世の女性にかんする史料はけっこう残っているのですが、研究者の圧倒的多数は男性で、「世の中を動かすのは男だ」という視点で研究しているから、女性の姿が見えてこなかった。歴史を描く側の性(ジェンダー)が研究にもかなり反映しているのだと、実感しましたね。

中世の女性は「共同経営者」の先駆

小林 中世の女性は、夫とは別の姓を名乗り、自分の財産をもち、夫亡きあとは家長の役割もになっていたそうですね。

田端 ええ、古代から近世前半にかけて、じつは日本は夫婦別姓でした。「源政子」ではなく「北条政子」、「足利富子」ではなく「日野富子」ですからね。当時は、婚姻のさい、実家から財産をもってきて、夫とともに家を「共同経営」していましたから、夫が亡くなっても、経験豊かな妻が家の経営を引き継いだ。だから、後家になって大き

たとえば信長の妹・お市は政略結婚の代表のようにいわれませんが、彼女は浅井家に入るときも出るときも織田の家臣団と一緒にだったことが、最近わかってきました。これは結婚前からの家同士の合意で、女性の結婚は家としての重要な決定だったのです。このことから、女性の役割は予想以上に大きかったのではないかと考えます。

な力をもてたんですね。このように女性の姿の解明がすすんだことで、当時の家にかんする研究も進展したのではないかと思います。

小林 NHKの番組「その時、歴史が動いた」での、「中世の女性も自分の意思を大切に生きて」という先生の指摘は、現代女性の大きな共感を呼んでいるようです。番組では北条政子、細川ガラシャ、春日局などについて解説なさいましたが、個人的にはどの女性が好きですか(笑)。



田端 三人のなかでは、やはり政子ですね。

彼女は東国の身分の低い家の出で、流人とはいえ身分の高い頼朝と、身分差をはねのけて結婚しました。毅然と自分の意思を表現できた彼女はすばらしいと思います。

それに、夫亡きあと、みずから幕府を背負う身となったときは重臣合議制をとっています。専制君主的に執政するのではなく、多くの人たちの会議・合議をへたうえで決定を下すというスタイルをとったあたりに、非常に非凡なものを感じます。

大きな視点で歴史をみて、 自分自身を磨いてほしい

小林 先生の講義をうけた学生が、「歴史を学ぶことで女性としての自分の生き方を考えることができた」と、のべています。学生気質は変化していますか。

田端 学生の学力低下がいますが、若い人たちは一面とても素直で、こちらの接し方によつてどんどん成長します。そういう信頼感は、以前とまったく変わりません。

歴史は、必ずしも「だんだん、よくなってきた」という上昇の側面ばかりではなく、失ってきただけのもたくさんありますから、学生はそれを見つけて、「昔は昔、いまは違う」で終わらせず、こんごの自分の獲得目

標をしっかりしたものに

してほしいですね。たとえば男女の関係にしても、大昔は平等だったかもしれませんが、いまは不平等がある。それを「戦前よりは多少ましになったわ」ですませるのではなく、もっと大きな視点で歴史をみて、高い目標を設定し、自分自身を磨いてほしい。とくに女性史は、新しい発見に立ち会う場面が多くて、「私もこれだけのことができた!」と達成感を味わえる分野ですから、楽しいですよ(笑)。

ネットワーク・ナウ
Network!
対談 **Now**

京都橘女子大学の生協学生委員会では、大山乳業酪農体験インターンシップでファームステイに参加した学生と、奈良・治道トマト栽培農家の堀内さんの話を聞いた学生が中心になって、堀内さんを講師に「食べ物ひとつから広がる視野」と題した講演会を開催。これの成功に自信を深めた学生たちは、大学近くの農家とも連携して、食堂と購買部で「産直フェア」を開き、治道トマトや大山乳業でつくられるコープ牛乳、地元のナスなどを販売。トマトやナスを使ったレシピも生協職員と共同で作成するなど、その活動は広がりをみせている。

さらに受験生の多くが泊まる大学近くのホテルに待機して、交通・キャンパス案内など役立ち情報を満載した冊子や手づくりお守りを渡し、さまざまな相談に乗る活動は、受験生や保護者にも好評だ。

大学生協は、食堂の栄養価表示などの利便性を高めつつ、学生がみずからの感性を磨き、生き方や健康を考え、創意を発揮する、かっこうのフィールドとなっている。



大学は学問と生き方を学ぶ場 生協が果たしている役割

田端 大学生協の活動を経験した学生が地元へ帰ったら、さぞ頼もしい人になるでしょうね(笑)。

小林 自分たちで考えて、しかも楽しく活動なさっているのはすばらしいですね。「協同」は、その経験がないとなかなか実感できませんから。

田端 大学ではグループ発表の機会も与えますが、卒論に取り組みはじめるとそれも減りま

すので、生協が食を考えた生産者と交流する場をつくってくださるのはありがたいですね。大学は、学問と同時に生き方を学ぶ場ですから、その意味でも生協は大きな役割を果たしていると思います。

小林 そして卒業後も、職域や地域で生協の組合員となつて、ずっと「協同」の輪のなかでくらしていただきたいですね。

日本の歴史のなかでつちかわれてきた「協同」の思想

小林 京都の女性たちを、先生はどう思われますか。

田端 自分の生活レベルをきちんとふまえて、あまり無理をしないで生活する人たちが多いですね。「京都人は冷たい」といわれますが、いざというときには

親身になって助けてくれます。

考えてみれば、昔の京都は町衆が「協同」で運営していましたし、「協同」は日本の歴史のなかでつちかわれてきた思想のひとつではないかと思えます。いずれ学生たちも全国へ散っていきますが、京都でのくらしのなかで「手をつなぐこと」の意味を学び、「協同」の思想を深めてほしいですね。



ジェンダー・福祉・「個配」:

小林 生協は「くらしを協同の力で支える事業」ですから、職員も生活者の視点をもつことがもとめられます。ところが、実際に家事ができる男性職員はまだまだ少ないし(笑)、育児休暇や介護休暇をとる男性も非常に少ない。それに、組合員は圧倒的に女性が多いのに、正規職員に占める女性の割合は約一割にすぎません。女性職員の比

率を高めるとともに、組合員組織も専業主婦だけでなく、働く女性や高齢者や男性も参加できる組織へと変化する必要がありますと考えています。

田端 高齢者支援は大事ですね。神戸に住む私の姉たちも高齢なので、震災のときにコープこうべが自宅まで「個配」してくださったのはほんとうに助かりました。京都でも最近、「個



もっと安心で 利用しやすい生協へ

「配」に取り組んでおられるそうですね。

小林 全国的にも、働く女性があふえて「個配」が広がり、京都生協も6年前から「個配」サービスをはじめました。

田端 私はいまのところ共同購入を楽しんでいます、班の人たちと料理法を教えあったり、現代版「井戸端会議」みた

いで、なかなかいいものですよ（笑）。

小林 「個配」はくらしを支える大事な事業形態ですが、たしかに班にもすがたい魅力がありますね。留守がちな私のくらしも班に支えられています（笑）。ですから、京都生協としては、班も「個配」も育てていく tara と思っています。

小林 このさい、ぜひ生協へのご要望を。

田端 生協の土付大根はともおいしくて、保存もできて、じつは大ファンです（笑）。お豆腐も大好きです。

ただ、ヨコオの鶏肉製品の不適正表示はショックでした。そこで思うのですが、各地の生産物はその地域に責任をもつてもらうというシステムはどうでしょうか。たとえば鹿児島産の生産物は鹿児島県のみなさんが責任をもつてチェックしてもらえば、生協のネットワークを生かした信頼関係ができるのでは



と思います。「安心して食べたい」

は消費者の共通の願いですから、生協がそのモデルを実践していただければと思います。

小林 コープ商品の安全性は、「安全で安心できる確かなものを組合員に届けよう」とい

う思いをメーカーや生産者の方と共有しないと実現できないということが、あらためてはつきりしました。生協としてこの問題にしっかり対応していきたいと考えています。

田端 それと、生協の舞鶴直送のお魚ももっと利用したいのですが、大きな魚一匹まるごとでは二の足をふんでしまいますので、その辺の工夫もお願いしたいですね。期待も込めて、ちょっと注文を申し上げました（笑）。

小林 生活スタイルの変化に対応し、その時代の「協同」をさぐっていききたいと考えています。こんごともどうかよろしくお願いいたします。



京都橘女子大学教授・文学博士
女性歴史文化研究所初代所長
田端 泰子さん



京都府生活協同組合連合会副会長／京都生協理事長
小林 智子さん

写真撮影／有田知行

ネットワーク・ナウ
Network!
対談 Now

京都府総合防災訓練に参加

京都府との「応急対策物資協定」にもとづいて
山田知事（本部長）が生協ボランティアを激励

9月7日、亀岡市をはじめと

する会場で、京都府総合防災訓練がおこなわれました。京都府生協連は、J A京都中央会とともに参加。京都府との「応急対策物資協定」（97年締結）にもとづく必要物資調達、被災地での災害時ボランティア活動訓練

をおこないました。

この訓練には、54名の生協ボランティアが参加、J Aグループとともに会場で指定物資を手渡しました。当日は、京都府山田知事も、京都府生協連・J A京都中央会テントを訪れ、激励



山田知事（本部長）の激励をうけました。

この防災訓練は、「阪神・淡

路大震災を教訓として、非常災害時に備え、災害対策基本法及び地域防災計画にもとづき地域住民と各防災関係機関が一体となつて総合的な訓練を実施することにより、府民の防災意識の高揚と防災関係業務に従事する職員の実践的な実務の習熟を図ること」を目的にしたもの。

当日は、あいにくの雨模様で、一時、はげしい降雨もあり、会場もぬかるんだ状態でしたが、終了まで整然とした訓練がおこなわれました。



「応急物資」をとどける生協車両

南丹地域防災学習会を開催

これに先だつて、8月27日、

京都生協南丹支部で、京都府生協連災害対策委員会主催による

南丹地域防災学習会が京都生協船井・美山行政区委員会の参加協力で開催されました。

開会のあいさつを京都府生協連災害対策委員会小川正委員長がおこない、京都府総合防災訓練の目的と訓練計画について、

亀岡振興局総務部課長補佐・企

画総務係長杉崎功氏より、ご説明をいただきました。

「阪神・淡路大震災と生協が果たした役割」と題して、兵庫県生協連事務局次長井上賢一さん（元コープこうべ組織政策企画統括部長として災害当時活動を指揮）からお話をいただき、防災の大切さを深めました。



訓練に先だつて開かれた南丹地域防災学習会

「健康とたべるたいせつ」 フォーラム

(第9回京都府生協大会) 開催、600名が参加

11月12日、「食生活を見直し、健康とたべるたいせつ 豊かな食生活を考える」フォーラム(第9回京都府生協大会)がKBSホールで開催され、600名の参加がありました。この取り組みは、財団法人・食生活情報サービスセンターの「食生活改善活動支援事業」にもとづくもの。

農林水産省近畿農政局、京都



KBSホールは満杯。ユーモアたっぷりの講演でした。

府、JA京都中央会、京都新聞社、KBS京都、京のふさと産品協会から後援をいただいたほか、京のふさと産品協会、JA京都の協力のもとに、京野菜キャンペーンとして、『京野菜料理集』、「みず菜」が参加者にプレゼントされました。

また、京都府環境企画室の協力のもとに、第3回世界水フォーラム成功キャンペーン企画の一環として、美山「自然水緑茶」のサンプル配布をしました。

当日は、講師の小林カツ代さん協力による『たべるたいせつブック』や著書販売をおこないました。

フォーラムは、廣瀬佳代・生協大会実行委員長らの司会のもとにす



京都府山田知事代理／商工部長・奥原恒興さんより来賓ごあいさつ



料理家・小林カツ代さんが元気一杯の講演

すめられ、主催者あいさつを京都府生協連会長理事・吉田智道がおこないました。

つづいて、京都府山田知事代理として商工部長・奥原恒興さんより、来賓ごあいさつをうけました。

第1部のメイン講演は、テレビ等でもおなじみの料理研究家・小林カツ代さん。「たべることは生きること」をテーマにユーモアたっぷりのお話で、会場はしばしば笑いの渦となりました。

参加者からは「食を調理から食事にいたるまでリズムに乗って楽しませよう」という小林カツ代さんのメッセージがしっかりと伝わった」「笑いの上につ



笑い渦まく会場



「求められる21世紀の私たちの食生活」をテーマにパネルディスカッション

かりしたメッセージ（作ること食することの大切さを楽しもう）を伝えられ、さすがだと思いましたが、感想がよせられました。

第2部は、京大生協管理栄養士・友藤弘子さんをコーディネーターに、農林水産省近畿農政

局長・黒木幾雄さんより、「食生活指針の意味するものは」のテーマで話題提供があったのち、パネルディスカッションがおこなわれ、4人のパネリストが参加しました。

・男山お父さんの料理教室メンバー・高橋皖文さん

・京都生協組合員活動企画室・竹内絹代さん

・J A京都中央会地域振興対策部長・牧 克昌さん

・京都府立大学人間環境学部健康科学研究室・西 智栄子さん

子さん

「求められる21世紀の私たちの食生活とは。食生活の現状と課題」をテーマとして、それぞれ報告があり、議論をふかめました。

最後に、京都府生協連副会長理事（京都生協理事長）・小林智子より、まとめと閉会のごあいさつをおこないました。



近畿農政局局長・黒木幾雄さんが話題提供

各界から祝電

（敬称略、順不同）

近畿の各府県生活協同組合連合会

京都府議会議長・

坪内正一

J A京都中央会会長・

中川泰宏

国会議員

・自由民主党・奥山茂彦、西田吉宏、菱田嘉明

・民主 党・福山哲郎、前原誠司、松井孝治、山井和則

・日本共産党・井上哲士、穀田恵二、西山とき子

・自由 党・中塚一宏

京都の生協活動功労者表彰式がおこなわれました



前京都府庁生協理事長・岡田忠司さん

2002 年度 京都の生協活動功労者表彰式



京都府生協連会長理事・吉田智道が開会あいさつ

当日、京都の生協活動功労者表彰式がおこなわれました。感謝状と記念品が贈られ、和やかな雰囲気なかで昼食をとりました。

組合員とともに

京大生協・秋のわくわく健康ランド開催される

組合員の健康向上をめざして

10月30、31日の2日間、京大生協学生委員会Palletの主催により、ルネテラスおよび2階で、秋のわくわく健康ランドが開催されました。

各種体力測定（握力、背筋力、

立位体前屈、肺活量、反射神経、垂直跳び）のほか、体脂肪測定、骨密度測定（有料）などがおこなわれ、あわせて食生活相談会がもたれました。今回は、財団

法人・食生活情報センターの

「食生活改善活動支援事業」に参加した企画です。

京大生協管理栄養士の友藤弘子さんは「健康なキャンパスライフには、正しい食生活と運動

が欠かせません。大学生の食生



京大生協ルネ



学生委員会Palletが主催



栄養士12人が学生一人ひとりと面談

活は、不規則な生活リズム、朝食などの欠食、栄養のアンバランスなど、さまざまな問題をかかえています。『わくわく健康ランド』は、そんな大学生の健康の基礎である食事と運動について考え、実践する企画です」と、その意義を語ります。

栄養士による「食生活相談コーナー」では、栄養士12名で、

学生一人ひとりと面談し、食生活の改善や相談をうけました。栄養のバランスをとる秘訣である「主食、主菜、副菜のそろった食事」を基本に、主食のごはんの役割、野菜の摂取量増加のアドバイスなどをおこないました。

この取り組みには、2日間で600名が参加しました。

京都のJAと生協が手をむすんで

京都生協の店舗で府内フェア開催

京野菜「朝市」も

11月8日～10日の間、京都生協の店舗で2002年度府内フェアを開催。京都生協商品を生産しているメーカーや生産者による試食や宣伝、販売がおこなわれたほか、職員や組合員と顔をあわせながらの交流会が開かれました。

「地域の食文化や地域の産物を生かして、時には新しい料理に挑戦!」「地産地消・交流を深めよう」と、JA京都中央会との共催で京野菜・「朝市」と生産者交流会が取り組まれたのは、コープ京田辺、メイティ、二条駅、らくさい、いわくらの

5店舗。今年、4月にオープンしたばかりのコープ二条駅では、「あの京野菜はいつごろ出るの?」「京野菜を送ってあげたいけど、いつが旬なの?」など、生産者と組合員との会話がはずむ場面が多くみられました。



京都生協コープ京田辺



熱心に京野菜をピーアールするJA京都中央会職員

京都府協同組合

「第2回 職員体験・交流学校」
開催される

第2回京都府協同組合職員体験・交流学校



廣瀬佳代理事が講義

「マ」にもとづく研修や交流、現場での体験などを通して、京都の協同組合の価値や課題を学び、深め、21世紀の京都府下の協同組合の発展に寄与する取り組みとなりました。

8月23日～8月24日、京都生協の各施設で、京都府の4つの協同組合（JA、森連、漁連、生協）に働く職員の共育と成長を目的として、「職員体験・交流学校」がひらかれました。今年のテーマは、「協同組合の価値と職員の役割とは」。「テ



京都生協水畜産加工センター（京都協同食品プロダクト）で視察研修

12

京都府保健福祉部・京都府生協連定期懇談会が開催されました

9月3日、京都府保健福祉部との定期懇談会が、府庁内で開催されました。

戸田雄一郎・保健福祉部部長より、この間、食の安全をめぐる問題で大きな変化がおこっていること、行政としていろいろ取り組んでいるが多くの課題があること、生協の取り組みも聞かせていただき、今後の取り組みに生かしたい旨、ごあいさつがありました。

吉田会長理事より、この間の食の安全をめぐる動きや生協の取り組みについて、小峰専務理事より、食の安全を求める取り組みについて、尾松事務局長より、京都府の食品安全行政施策への「提言」について、報告しました。



第14回近畿地区生協・行政合同会議を開催

「生協の社会的役割と生協行政の課題」をテーマに



9月11日、兵庫県舞子ビラにおいて、第14回近畿地区生協・行政合同会議が「生協の社会的役割と生協行政の課題」をテーマに開催されました。

近畿地区府県連協議会代表・兵庫県生協連会長理事の小倉修悟さんが、主催者を代表して、あいさつ。つづいて厚生労働省近畿厚生局指導監査部・本村光節さんから、生協への期待のあいさつがありました。また、兵庫県副知事・斎藤富雄さんから、開催府県としての歓迎のあいさつがありました。

厚生労働省社会・援護局地域福祉課生協検査官・井上雅裕さんから、「生協の課題と連絡事項について」と題して、指摘報告がありました。

日本生協連常務理事・布藤明良さんから「日本の生協の組織、主な事業、行政との連携の取り組みなどについて」の報告があったほか、福井県、滋賀県、奈良県、大阪府、和歌山県、兵庫県、京都府の各生協連から、報告がありました。

京都生協がジェンダー学習会を開催

10月19日、せいきよう会館で、京都生協主催によるジェンダー学習会が開催され、おさかパルコープ理事のとら



だ喜代隆弁護士が「あなたもパートナーと輝いていますか？」と題して講演されました。京都生協が、ジェンダー問題での学習会を開催するのは、はじめて。本部男性職員も、各部局から参加しました。学習会には、滋賀、和歌山の生協組合員も参加、真剣な議論がおこなわれました。

京都府勤労者健康スポーツフェスティバル開催

10月19日、京都府勤労者健康スポーツフェスティバルが丹波自然運動公園で開かれ、1000名が参加しました。



第14回KYOのあけぼのフェスティバルワークショップ開催
10月12日、京都テルサで、第14回KYOのあけぼのフェスティバルが開催され、ワークショップに参加しました。テーマは「男女共同参画ーわたしの立場からⅡ」。



廣瀬佳代理事の司会のもとですすめられ、坂本茂・事務局次長ほか、ばろでい・お伽草子「モモから生まれたモモちゃん」を発表、つづいて、あざみ祥子・京都消費者団体連絡協議会事務局長が「女がジェンダーに気づくとき」法制度の面から」を報告しました。

小林智子・京都府生協連副会長が助言しました。

学生の健康とごはん食の重要性をアピール

10月17日、KBSテレビ生中継「らぶかん」企画に、管理栄養士・友藤弘子さん（京大生協）が出演し、京都産のお米の紹介、学生の健康とごはん食、ごはんを食べることの健康性・重要性をアピールしました。



を発表しました。80名をこえる人が聴衆参加しました。

京都府生協連は、「食生活と食の安全」ブースにパネル展示したほか、丹波産ソフト煎り黒豆試食コーナーを設置しました。「食生活と食の安全クイズ&トーク」の取り組みには、1300人が参加しました。



ライスフェアイン京都2002開催される

11月16日、パルスプラザ（京都府総合見本市会館会場）中央舞台で、京都生協中京区行政区委員会を中心に、生協ステージ「一味ちがうごはんメニュー」綾部のコシヒカリをおいしくたべましょう！」

第3回世界水フォーラム・生協学習・交流会

11月2日、世界水フォーラム交流プラザで、「食糧と水」をテーマに京都府生協連学習・交流会を開催しました。講師は、世界水フォーラム市民ネットワーク事務局長の神田浩史さん。水の「自由化」



をめぐる議論から、水の循環など、食糧と水とのかかわりについて、幅広く、お話いただきました。

京都府立大学で環境活動をすすめている学生も参加しました。

買い物袋持参・簡易包装推進キャンペーン

10月18日、京都市ごみ減量推進会議が、JR京都駅・伊勢丹百貨店前で、買い物袋持参・簡易包装推進のための店頭啓発活動をおこないました。10月5日～11月5日の期間に取り組まれた京都百貨店協会、京都市公設市場協同組合連合会、京都生協、京都商店連盟、日本チェーンストア協会関西支部と連携したキャンペーンのひとつ。京都府生協連・小峰耕二専務理事も、京都駅ビル内で訴えました。

消費者保護基本法改定にかんする学習会

11月8日、せいきょう会館で、京都府生協連の主催により、消費者保護基本法改定にかんする学習会が開催されました。講師に野々山宏弁護士（御池総合法律事務所）をむかえ、21世紀社会に消費者組織がどのような役割を担うか——いま、大きく見直そうとされている消費者保護基本法の改定作業の検討をふまえながら、お話いただきました。

この企画は、消費者保護基本法の改定作業にかかわる連続学習会で、12月25日には、関西大学森岡孝二教授を講師として、株主オンブズマンの活動をテーマに開かれました。



コープ牛乳産直交流協会主催「2002 産直フォーラム」開かれる

11月9日～10日、コープ牛乳産直交流協会主催「2002 産直フォーラム」が国府町中央公民館、鳥取県美郷牧場ふれあいの森で開かれました。県畜産課、国府町長などの行政関係者、地元大山乳業、鳥取県畜産農協の生産者、京都・滋賀の地域・大学生協の役員、組合員ら200名が参加しました。



越畑フレンドパークまつばらへ訪問・交流

国際協同組合デー第13回京都集会女性交流会で報告された、右京区越畑地区での「小さな山里の大きな夢づくり」

の場を訪ねようとの趣旨で企画されたもの。11月21日、小林智子・京都府生協連副会長、廣瀬佳代同理事、三宅いずみ・京都生協理事が、農事組合法人・越畑フレンドパークまつばらを訪問、大西恒治理事長はじめ、運営メンバーと交流しました。



農林水産省近畿農政局と2府4県・管内府県生協連との懇談会を開催

11月26日、近畿農政局会議室で、農林水産省近畿農政局と2府4県・管内府県生協連との懇談会が開催されました。黒木幾雄近畿農政局局長から「昨年来、BSE、表示偽装問題、農薬問題など消費者には多大な不信と迷惑をかけた。食と農の再生プランにも



とづいて消費者に軸足を置いて行政に転換したい。日本の食糧自給率の向上、食生活の見直し、トレーサビリティの実現、生産者と消費者の連携の課題と安全・安心の確保、表示問題、食品リサイクル法など、生協の皆さんと連携してすすみたい」とのごあいさつをいただきました。

生協を代表して日本生協連関西地連・川村事務局長があいさつをおこないました。近畿農政局各担当部局より、2府4県生協連より提出した「要望書」にもとづいて回答と説明をいただきました。

つづいて、滋賀、京都、兵庫、大阪、奈良、和歌山での生協活動の紹介をおこないま

した。最後に、兵庫県生協連・伊藤理事より、今回の会議のお礼と、国を挙げての食の安全施策の実現を強く要望しました。

大学生協京滋・奈良地域センター2003年度総会開かれる

12月7日、立命館大学衣笠キャンパスで、2003年度総会が開かれ、2002年度活動報告・決算、2003年度活動方針・予算を承認したほか、新役員を選出しました。

総会には、大山乳業農業協同組合審議役・COP牛乳産直交流協会会長補佐の小谷慧さんらからメッセージが寄せられました。

2003年度の活動スローガンとして「学びと成長を広げ、元気を増やし、ともに魅力ある大学・地域・社会をつくろう」をかげました。



京都環境フェスティバル2002に出展

12月7、8日の2日間開催された、京都環境フェスティバル2002に京都府生協連が出展。

京都生協環境活動サポートとともに、環境にやさしいコープ商品や無洗米（BG米）の展示、環境クイズなどをおこないました。

京都生協の人気商品である「芯なしロール150」の山の数当てクイズに多くの参加者がチャレンジ、家族や友だちどうしで真剣に数をかぞえていました。「芯なしロール150」は、フェスティバル終了時に、小林智子・京都府生協連副会長らとのジャンケンゲームで勝った方にプレゼントされました。



JA女性協と生協女性役職員との懇談会を開催

12月12日、JA女性組織協議会と京都府生協女性役職員との懇談会が、やわた流れ橋交流プラザ・四季彩館で開催されました。大村律子・JA京都女性協会長と小林智子・京都府生協連副会長がそれぞれあいさつされたのち、NPO法人「京・流れ橋食彩の会」の活動について、谷口美智子理事長より報告があり、意見交流しました。



ビデオ「安全・安心な食卓づくり」を上映したほか、食の安全にかんするJAグループ京都の取り組みについて、JA京都中央会営農生活課長・野々口康史さんより報告がありました。両組織の懇談会は、今回で第5回となりました。

京都府生協連からの

おもな行事のお知らせ

1月～3月

京都府生協連・各会員生協 相互連絡通信防災訓練

日時：2003年1月17日(金)

7:00～11:00

内容：京都府生協連と各会員生協との
通信連絡訓練

第4回 京都消費者フォー ラム

京都府生協連主催シンポジウム
「いま、子どもたちの食生活は
……安全と安心をどうにつく
ていくか」

日時：2003年1月25日(土)

12:45～14:25

会場：ハートピア京都

(京都府立総合社会福祉会館)

地下鉄丸太町駅⑤番出口

パネリスト(敬称略)：

・西村一郎(生協総合研究所研究員)

……小学生の食生活／生協全国調査に

まつこ

・平田健一郎(京都市教育委員会体育健
康教育室指導主事)

……中学生の食生活について

・友藤弘子(京大生協管理栄養士)

……大学生の食生活について

・竹内絹代(京都生協組合員活動企画室)

……コーディネーター

第3回 世界水フォーラム協賛

第9回 元気を広げる広報 活動・交流会

主催：京都府生活協同組合連合会・大
学生協京滋・奈良地域センター

日時：2003年3月1日(土)

10:30～14:30

会場：ハートピア京都

(京都府立総合社会福祉会館)

地下鉄丸太町駅⑤番出口

講演は水フォーラム企画協賛としてオ

ープン企画とします。

講演：「徳島県・吉野川第十堰・河口

堰の運動と情報活動」(仮題)

講師：(予定) NPO法人吉野川みん
なの会代表 姫野雅義氏

第3回 世界水フォーラム 虹のつどい

主催：生協実行委員会(滋賀県生協
連・京都府生協連・コープし
が・京都生協・大阪北生協)

テーマ：「水 くらし いのち」

日時：2003年3月20日(木)

10:30～14:30

会場：ピアザ淡海

大津市におの浜1丁目1-20

企画内容：

①学習講演Ⅰ

「くらしと水／琵琶湖・淀川水系の

過去・現在・未来」

……環境監視研究所・中地重晴先生

②学習講演Ⅱ

「食と水／滋賀県の郷土料理につい

て」

……滋賀大学教授・堀越昌子先生

③活動交流／生協の水問題にかんする

取り組みや環境活動の紹介・発表

……コープしが／京都生協

④滋賀県の郷土料理試食

参加費：500円

株式会社やわた流れ橋交流プラザ
八幡市上津屋垣内56番地の1
TEL.075-983-0129

食と憩いの交流館

四季彩館

やわた流れ橋交流プラザ

八幡の自然が織りなす美しい四季とともに、
地域にはぐくまれてきた食や文化を、ご家族、
お友達、グループでお楽しみください。



●食事●特産物販売●会議、研修、宴会、宿泊

営業時間：10:00～21:00

休館日：夏休み中を除く毎週月曜日と年始年末

(月曜日が休日の場合は、その翌日以降の休
日でない日)



八幡ならではの味
「そば割烹 流石庵」



NPO「京・流れ橋食彩の
会」のオリジナル食品
「四季のはなえみ」など、
八幡の魅力がいっぱい